

大丈夫、



本日3月24日、熊本学園大学を卒業するきみへ。とうとうこの日がやってきたね。きみが過ごした学生生活の間、世界は歴史に残るほど二変した。人生の節目と、時代の節目を同時に経験したきみは、きつとたくさんの感情を抱えて過ごしてきたと思う。明日から新たな歩みが始まる。これから先も大きな時代の変化は続いていくだろう。技術革新による変化、新型コロナウイルスの影響による変化、そして世界情勢も日々変わっている。変化のスピードはあまりにも速く、ときに私たちの前に大きな問題が立ちはだけることもある。しかし、忘れないでほしい。こんな激動の時代だからこそ、人と人とのつながりが大切になるということを。前を向くと99,657人の同窓生との強い絆がある。つまり、きみには大勢の味方がいるということだ。だから、大丈夫。自信を持ってきみらしく未来を歩んでください。

きみの味方は、 大勢いる。

熊本学園大学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

学校法人熊本学園
熊本学園大学・大学院 | 熊本学園大学付属高等学校
熊本学園大学付属中学校 | 熊本学園大学付属敬愛幼稚園

80th
2022年
熊本学園創立80周年



本日は熊本学園大学の卒業式です。1,112人のみなさん卒業おめでとう。

【出演】きみを応援する熊本学園大学の関係者

得意先の社長は 味方でした。

熊本県内企業の社長の数が一番多いのは、熊本学園大学。きみの歩む先々に熊本の経済を牽引する企業のリーダーがいる。このことは、これから社会に出るきみの後押しになるでしょう。



秒速で親友。

「熊本学園大学出身です」このひと言が、急速に人との距離を縮めてくれる。それは大学名のなかに、過ごしてきたキャンパスの空気やポジティブな感情が詰まっているから。



お笑い芸人、政治家、 アナウンサー… こんなところにも先輩が。

公務員や教師、福祉専門職に卒業生が多いのはよく知られていますが、ほかにも驚くほど多種多様な業界に卒業生はいるんですよ。



松岡泰輔さん(80歳)は、 きみを応援している。

松岡泰輔さんは、熊本学園大学の前身である熊本商科大学の第8期卒業生。熊本学園大学は、2022年で80周年。80年分の歴史と人脈がきみを応援しているのです。



熊本の人は、 熊本学園大学が好き。

手前味噌ですが、そう感じる事がたびたびあります。それは、在 student や卒業生が地域社会と連携して様々な課題に取り組み、ともに成長し続けてきたからだと思えます。

きみの家族は、 99,657人いる。

建学の精神のひとつ「ぜんがいつか全学一家」は、教職員と学生が一体となる学風のこと。この精神が学園の歴史の中で息づき、同窓生の強固なネットワークを築いているのです。



最近の熊本って イケてるね。

最近の熊本の発展には、目を見張るものがあると思いませんか？ 桜町の再開発、熊本駅の新ビル、2023年に生まれ変わる熊本空港など。それらの計画や開発の中心で、きみの先輩たちは活躍しています。



世界で 会いましょう。

卒業生の活躍先は、熊本や九州だけではない。遠くはなれた海外で活躍している卒業生がたくさんいます。世界のいろいろな場所で、先輩たちはきみを歓迎してくれるでしょう。



教授をお母さんと 呼んでしまった。

…という笑話を聞いたことがあります。しんがいつか建学の精神「師弟同行」「全学一家」のように、卒業しても、きみと教職員の結びつきが強いのが私たちの大学です。



くまもと歩けば、 味方に会える。

「一家にひとり、親戚にひとり、熊本学園大学の関係者はいる」とよく言われます。街で、職場で、生活のあらゆる場面で、私たち熊本学園大学は、強くつながっているのです。



涙で別れを惜しんだ。 入社式で再会した。

今年の卒業生は、1,112名。同級生と就職先が一緒だったという話はよくあることです。きみがどの業界に進んでも仲間がいる。それは、きみの大きな強みです。



[きみ]×[仲間] =無限のパワー

きみのちからと、仲間のちから。タッグを組むとそのパワーは何倍にもなる。世界にはひとりでは解けない問題がたくさんある。個性豊かな仲間とタフに未来を切り開いてください。



卒業しても 学びにおいて。

熊本学園大学の図書館は、蔵書数約92万冊。西日本有数の図書館です。卒業生は利用できるのぜひ学びにきてください。そうそう、おなががいなら学食も利用できますよ。

※新型コロナウイルス対策に伴い現在入場制限をしています。



大人になると 出会いが少ない？

答えはNOだ。熊本学園大学の同窓生はあらゆる場所においてすぐに仲良くなれる。学生時代より卒業してからのほうが、ずっと出会いが多いと話す卒業生はたくさんいますよ。



絆は卒業しません。

本日は卒業式ですが、熊本学園大学の絆はこの先もずっと続いていきます。この絆は、きみを困難から救ってくれたり、人生を豊かなものへと導いてくれるでしょう。



きみらしく 自由に進め。

建学の精神のひとつに「自由闊達」という言葉があります。80年前、自由が今ほどあたりまえではなかった時代から、人と人が支えあいながら自由を掴む精神が脈々と受け継がれているのです。

